アプスト情報局

2015年
3月17日号

作：アップステーション教務部

埼玉県公立入試　志願状況の分析①

３月２日（月）に埼玉県公立入試があり、１０日（火）には合格発表がありました。今年の入試動向を分析している最中ですが、現段階でわかったことをお伝えしていきます。

分野ごとにおける志願者数の推移

学科		入学許可予定者数		昨年	今年	変動
普通		28987	志願者数	35368	35236	0.01
			倍率	1.21	1.22	
総合		2029	志願者数	2330	2224	0.01
			倍率	1.08	1.10	
専門		8264	志願者数	9147	9016	-0.02
			倍率	1.11	1.09	
主要な専門学科	農業	834	志願者数	952	875	-0.09
			倍率	1.14	1.05	
	工業	2745	志願者数	2897	2930	0.01
			倍率	1.06	1.07	
	商業	2808	志願者数	2921	2840	-0.03
			倍率	1.04	1.01	
	家庭	320	志願者数	382	340	-0.13
			倍率	1.19	1.06	
	外国語	359	志願者数	512	543	0.09
			倍率	1.43	1.51	
	理数	200	志願者数	359	357	-0.01
			倍率	1.80	1.79	

外国語科の倍率推移	H.24	H.25	H.26	H.27
	1.26	1.47	1.43	1.51

今年の各分野における倍率は、ほぼ昨年度と同様の結果でした。

ただし、その中で大きな変動があったのが、外国語科の倍率の上昇です。平成二十四年の入試から倍率が上がっており、昨年は落ち着きをみせたと思いましたが、今年また再上昇しました。県中央の学校では、蕨、大宮光陵、南稜、東部の学校では、不動岡、春日部女子、越谷南が高倍率になりました。他の普通科の学校に比べてだいぶ目立った倍率になってきました。おそらく次の入試でも外国語科は高めの倍率になるでしょう。

また、昨年と同様に理数科は高倍率になりました。理数科はここ数年、高倍率が続いています。大学入試でも「文低理高」（文系の人気が低く、理系の人気が高いこと）の傾向がまだ続いているので、まだしばらく理数科の高倍率は続くでしょう。

旧第１学区は他の学区に比べ全体的に高倍率になりました。

この地区の上位校は、浦和、浦和第一女子、大宮、市立浦和、蕨、浦和西、川口北の７校に絞りこまれます。これらの学校は全て高倍率になります。理由は、立地や特色ではなく、学校数自体が少ないためです。上位校以外で倍率の高い人気校は、浦和南、南稜、県陽、川口総合、鳩ヶ谷になります。理由は立地や校風など様々です。秋の説明会などで見に行くと「この学校に行きたい」という子は多いです。人気のある学校は今後、偏差値も上がっていく可能性が高いので気をつけてください。また、大宮西は中高一貫校になるため、募集枠を大きく減らしたのが影響し、高倍率になりました。

それに対して、倍率が低い学校に共通することは「偏差値が低い」ということです。また、立地が悪いという特徴もあります。前年度に定員割れをしている場合は、逆に反動で倍率が上がることがよくあるので気をつけてください。

次回、その他の学区と専門学科の分析をお伝えします。

－旧第１学区（さいたま・川口・戸田・上尾近辺）編－

昨年度より倍率が上昇した高校 TOP10

	学校名	偏差値	昨年度	今年度	増減	備考
1	大宮(理数)	72	2.45	2.88	0.43	
2	大宮光陵(外語)	56	0.90	1.30	0.40	
3	市立県陽	49	1.16	1.46	0.30	
4	蕨(外語)	64	1.45	1.70	0.25	
5	南稜	53	1.41	1.63	0.22	
6	市立浦和南	60	1.40	1.59	0.19	
7	市立大宮西	55	1.30	1.47	0.17	−80人
8	鳩ヶ谷	47	1.23	1.39	0.16	
9	北本	42	0.85	0.99	0.14	−40人
	鴻巣	50	1.05	1.19	0.14	

昨年度より倍率が減少した高校 TOP10

	学校名	偏差値	昨年度	今年度	増減	備考
1	浦和北	57	1.43	1.22	-0.21	
2	大宮東	48	1.19	0.99	-0.20	+40人
3	伊奈学園	60	1.40	1.21	-0.19	
4	上尾南	46	1.11	0.93	-0.18	
5	大宮武蔵野	47	1.31	1.14	-0.17	
6	市立川口	57	1.35	1.22	-0.13	
7	上尾橘	39	1.08	0.96	-0.12	
8	浦和東	50	1.29	1.20	-0.09	
9	与野	57	1.35	1.27	-0.08	
10	上尾	57	1.31	1.24	-0.07	
	川口東	46	1.17	1.10	-0.07	−40人

上位校の倍率動向

偏差値	学校名	昨年度	今年度	増減	備考
72	大宮(理数)	2.45	2.88	0.43	
71	浦和	1.50	1.62	0.12	
70	大宮	1.25	1.24	-0.01	
69	浦和第一女子	1.50	1.45	-0.05	
67	市立浦和	1.75	1.69	-0.06	+40人
65	蕨	1.50	1.51	0.01	+40人
64	蕨(外語)	1.45	1.70	0.25	
63	浦和西	1.51	1.56	0.05	−40人
62	川口北	1.51	1.58	0.07	
60	伊奈学園	1.40	1.21	-0.19	
60	大宮北(理数)	1.78	1.73	-0.05	
60	市立浦和南	1.40	1.59	0.19	
59	市立大宮北	1.24	1.22	-0.02	+40人

※ 普通・外語・理数のランキングになります。
専門学科は含まれていません。

高倍率の高校 TOP20

	学校名	偏差値	今年	備考
1	大宮(理数)	72	2.88	
2	大宮北(理数)	60	1.73	
3	蕨(外語)	64	1.70	
4	市立浦和	67	1.69	+40人
5	南稜	53	1.63	
6	浦和	71	1.62	
7	市立浦和南	60	1.59	
8	川口北	62	1.58	
9	浦和西	63	1.56	−40人
10	蕨	65	1.51	+40人
11	南稜(外語)	53	1.48	
12	市立大宮西	55	1.47	−80人
13	市立県陽	49	1.46	
14	浦和第一女子	69	1.45	
15	川口総合	49	1.42	−40人
16	鳩ヶ谷	47	1.39	
17	大宮南	53	1.35	
18	大宮光陵(外語)	56	1.30	
19	与野	57	1.27	
20	岩槻	50	1.25	

低倍率の高校 TOP10

	学校名	偏差値	今年	備考
1	上尾南	46	0.93	
2	上尾橘	39	0.96	
3	大宮東	48	0.99	+40人
	北本	42	0.99	−40人
	鴻巣女子	43	0.99	
6	岩槻北陵	37	1.01	
7	桶川西	40	1.05	
8	川口東	46	1.10	−40人
9	川口青陵	43	1.11	+40人
10	大宮武蔵野	47	1.14	